

市政について皆様の声をぜひお聞かせください!

目黒哲也 通信

●発行人 目黒哲也

所属委員会 ・ 社会厚生委員会 委員長 ・ 議会運営委員会 ・ 議会広報編集特別委員会
・ 都市計画審議会 ・ 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員
・ 魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員

●連絡先 目黒哲也後援会事務所

〒949-6612 新潟県南魚沼市東泉田1076-1 TEL 025-773-6253
携帯 090-4011-7563 E-mail kinseikan.tetsuya430623@gmail.com

議会報告 Vol.22
令和5年7月発行

目黒哲也
公式ホームページ
こちらから➔



目黒哲也通信のバックナンバーを希望される方は、メールあるいは電話にてお気軽にご連絡ください

ごあいさつ

皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ようやく、まちに笑顔と活気が戻ってきました。グルメ村が復活した南魚沼グルメマラソン、卯年祭り、住吉神社例大祭、兼統公祭りとイベントやお祭りが再開されてきました。さらに、八海山麓スキー場ではアクティブサンロックサマーがスタート、8月には魚野川鮎丸かじり祭が開催予定となっております。子どもたちと同じようにワクワクする夏になります。皆さんと一緒に地域を盛り上げて、地域を元気にしてまいります!

鮎丸かじり祭のボランティアを募集中です!! 私までご連絡ください。

あそびはまなびだ!
7.23-8.20! 9:00-16:00
魚沼市東泉田1076-1

7.23! OPENING アンダー アンダー アンダー	7.22! 手塚風くらま祭り 魚沼市立東泉田小学校 10:00-16:00	8.6! みんなのSTAGE SHOW 魚沼市立東泉田小学校 10:00-16:00	8.7! 子どものこころ 魚沼市立東泉田小学校 10:00-16:00	8.20! FINAL STAGE 魚沼市立東泉田小学校 10:00-16:00
---------------------------------------	---	--	---	--

会場: 魚沼市東泉田1076-1
TEL: 025-779-3103

アクティブサンロックサマー (7月23日-8月20日)

第23回 南魚沼市魚野川
鮎丸かじり祭

期日 令和5年 8月26日(土)
会場 南魚沼市六日町魚野川坂戸橋下流
時間 午前11時から午後9時まで(当日は天候により変更あり)

前売券発売中 ¥3,200 税込 ¥3,500
当日券 ¥1,000 税込 ¥1,100

問合せ先 南魚沼市観光協会 025-783-8377
六日町観光協会 025-788-1799

鮎丸かじり祭 (8月26日)

南魚沼市の地方創生の推進はいかに

一般質問

※質問と答弁は一部抜粋

目黒 当市の大きな地域課題は何か。

市長 地域の課題は様々あるが、現在直面している課題は、人口減少・少子高齢化の問題。それが原因で、働く世代の人口減による様々な産業での人手不足・後継者不足、高齢者の交通問題、空き家問題、持続可能な医療体制など、枚挙に暇がない。

目黒 松井利夫氏産業育成支援特別顧問選任の具体的施策は。

市長 顧問は起業家であり、日本各地で取り組まれた起業家育成や、まちづくりで培われた専門的な知識、広い人脈を生かした助言などをもらう。起業・創業を目指す人材の育成、イノベーション事業の創出、企業の成長に関わる施策、市内外の事業者交流による地域産業の育成、リゾートオフィス・田園都市構想のさらなる推進に取り組んでまいります。

すでに、雇用主と労働者のマッチングアプリや、南魚沼市内外の事業者のネットワークの構築を目指す南魚沼スタートアップイベントにご助言をいただき、進めているところである。

目黒 小高直弘氏政策アドバイザー選任の具体的施策は。

市長 アドバイザーは各県の政策アドバイザーを歴任し、地域の課題やまちづくりの問題等、広い分野にわたって関与して

きた。その経験と見地を生かして、政策全般の理念を実現するための調査・助言・提案をしてもらう。

市の将来像を見据えた政策を実現するためにプロジェクトチームを庁内横断的に組織し、アドバイザーにはプロジェクトの先導役として政策実現を加速化させていきたい。

目黒 現在、どのようなプロジェクトを考えているのか。

市長 今まさにそのプロジェクトを整理しているところである。例えば、世界に開かれたまちづくり、稼ぎ出すこれからの観光づくり、医療のまちづくり、公共施設の有効活用、環境等のプロジェクトを考えている。

目黒 市の課題である高齢者の交通・買い物、アグリテクノロジー、遠隔地医療、非常時・災害時の情報の一斉伝達、そして空飛ぶ車等、デジタルを活用したプロジェクトを加え、国が推進しているデジタル田園都市国家構想の特区を目指してはどうか。

市長 今は新しい社会が広がっていると思う。職員が将来像を感じながら意欲的に検討することで、面白い仕事生まれるはずである。まずは、生き生きとしたプロジェクトになってほしい。

南魚沼市議会 録画配信 | 検索

右のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になります。

地方は人口減少や少子高齢化により、今後は社会資本の更新、小・中学校の廃校、空き家・空き地対策や産業の空洞化など、様々な社会課題に直面している。

人口減少によって、生活関連サービスの縮小や行政サービスの廃止・有料化が進み、少子高齢化で企業の廃業も増え、地域経済は大きな打撃を受けることになる。

また地域が衰退すれば、治安や居住環境の悪化、災害の危険性が増大、生活利便性の低下にもつながり、人口減少に拍車をかけることにもなりうると考える。

一方で住民ニーズは複雑化し、どの自治体も「これまで通り」が通用しない時代を迎えている。行政と住民が連携し、世の中の変化や新たな課題に対応していくことが重要となってくる。トップダウンではなく、住民が自ら議論に参加し、方向性を決めることが納得性と正当性を高める。住民参加は必須のプロセスと考える。このような地方自治体が抱える問題を解消するための取り組みが地方創生である。

人口減少時代における縮退化は、自治の真価を問うプロセスになるだろう。

このたび、市は地方創生プロジェクトとして、松井利夫氏産業育成支援特別顧問と小高直弘氏政策アドバイザーを選任した。産業振興は雇用確保等、地域の活力となる。そのため、松井利夫氏産業育成支援特別顧問への期待は大きい。

私が考える松井特別顧問のプロジェクトは、以下の3点が重要であると思う。

1. 地域の体制拡大・充実
2. 民間の取り組みへの支援
3. 若い世代の育成

1. 地域の体制拡大・充実

●魚沼圏に拡げて起業を目指す人材育成

南魚沼市だけでなく、魚沼市、十日町市、湯沢町、津南町は生活圏である。生活圏全域で起業家育成をすることで地域力が高まり、更に雇用の確保にもつながると考える。

●行政職員向け道場

これからの行政職員は、新たな価値を生み出して地域で

稼ぐ力と、新しい時代に適応できるしなやかさを備えた人材の育成が必要であると考えます。

2. 民間の取り組みへの支援

●松井経営塾（経営道場）

経営者や後継者、幹部社員等、会社のリーダー向けの人材育成で、より一層の産業の振興につながると考える。

3. 若い世代の育成

●南魚沼愛みらい塾との連携

Youkeyプロジェクトやワーキングホリデー等の活動に松井顧問とのつながりをつくることで、児童・生徒・学生に新たな刺激になると考える。

市の政策全般の理念を実現するためのアドバイザーとして選任した小高直弘氏アドバイザーには、行政職員の意識を改革し、常に問題意識を持ち、市の未来の理想とすべき姿を描こうと考える主体性と、理想を実現するためにセクターを超えた熱心な議論を通し、実行していく組織へと向かっていくことを私は期待する。

今や地方は3つの「不」、不便・不安・不利という問題がある。地方の3つの「不」を解消し、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す取り組みが、国のデジタル田園都市国家構想である。デジタルの力で、地方の個性を活かしながら活性化し、地域の魅力を向上させて、社会課題の解決と魅力の向上を図る取り組みに5.5兆円もの当初予算を盛り込み、「地方に都市の利便性を、都市に地方の豊かさを」を実現して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す方針である。

市は令和5年度、デジタル技術の活用による業務改革の推進、住民サービスの向上、スマート自治体への転換を加速させるため、DX推進室を新設した。

私は、今こそ全庁あげて「デジタル田園都市南魚沼市構想」プロジェクトを推進していくべきと考えます。

このプロジェクトで、



松井利夫氏産業育成支援特別顧問



小高直弘氏政策アドバイザー



講演会「どうする地方創生」横本五郎氏

10年後もわくわくが溢れる地域であるために「若者と描くまちづくりとは」～みんなで育て みんなが育つ 魅力あるまち～



- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望を叶える
- ④ 高齢者が安心して暮らせる

このような魅力的な地域を創っていくことができると考える。デジタル技術活用の可能性を挙げてみると、

医療分野

- 遠隔医療体制
- 母子健康手帳アプリ

教育分野

- 教育DX化
- IoTを活用した子どもの見守り

産業分野

- 《農業》 アグリテクノロジー
- 《観光》 観光型 MaaS による利便性向上と広域周遊の促進
- 《観光》 登山体験アプリ
- 《製造業》 デジタル受発注DX

福祉分野

- 自動運転の導入
- ドローンによる配送
- AIを活用したオンデマンド型地域公共交通システム構築
- 健康ポイントLINE
- 在宅ケア支援ツール



日本自治創造学会研究大会

南魚沼市病院付属城内診療所 視察
廣田喜一所長



南魚沼市民病院 看護師募集



防災分野

- 鳥獣被害対策アプリ
- AIによる水害予測
- 災害発生時の避難誘導IoTセンサー

次世代分野

- メタパース
- 空飛ぶ車
- リニア新幹線

等々が考えられる。今や、デジタル活用で新しい未来が始まっている。過去からの積み上げで将来を予想する方法では「できないから今がある」という結論を導いてしまう。そうではなく、目指す未来の理想像を描きながら、自主的に主体的に構想の実現に向けた取り組みを推進していくことが大事であると考えます。

現実をみて「先送り」ではなく、未来に向けて「先取り」へと向かうことが重要ではないかと思う。

過去に先送りし、後手に回って傷を広げた事例としては少子化対策がある。「出生率1.57ショック」は90年のことだが、その後も対策が微温的なものにとどまったために、2022年は出生率が過去最低の1.26まで下がり続けたのである。

もちろん今があって未来がある。現在の足元を固め、住民のさらなる福祉向上と、産業のさらなる発展を着実に確実に実行していかなければならないことは言うまでもない。



若者と南魚沼市の未来を考える！ディスカッション

めぐろの活動



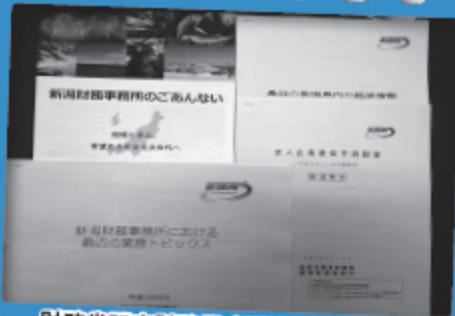
第14回南魚沼グルメマラソン
南魚沼さりさい井をグルメ村で提供



国際大学「創立40周年感謝の集い」&
インターナショナル・フェスティバル



防衛省と外務省の職員による
「ロシアのウクライナ侵略や核問題」と
「台湾有事問題」勉強会



財務省関東財務局 新潟財務事務所長
石田茂氏との情報交換



掛布雅之氏と岡崎郁氏による
トーク・セッション「野球進化論」



5月26日のエンゼルス戦で始球式に登場した
故 野村克也氏の孫娘であり
WBC MVPの大谷選手がいるエンゼルスの
元職員である野村沙亜也さん



南魚沼市章を湘南ベルマーレ
ユニフォームに入れてくださった
機品川鉄工場の島田敬志社長



講演会
「箱根駅伝から学ぶ人材育成術」原晋氏



行政視察 (相模原市・武蔵野市)



(一社)南魚沼防災活動センター設立総会



南魚沼市防災訓練



NPO 湯沢砂防総会